

厚木基地における夜間連続離着陸訓練中止要請の結果

米空母キティホーク艦載機の夜間連続離着陸訓練（NLP）について、神奈川県及び厚木基地周辺7市とともに、政府及び米側に対し、その中止を要請した結果、次のとおり回答を得ました。

1. 外務省

要請内容は関係者に伝える。外務省として米側にできるだけ硫黄島で訓練を行い、厚木基地での訓練を最小限にするよう申し入れた。空母の運用上、訓練は必要と考えるが、今後ともできるだけ硫黄島で訓練を行うよう、引続き働きかけていきたい（有吉孝史 日米地位協定室首席事務官）

2. **防衛施設庁**：要請の趣旨は理解した。厚木基地周辺の騒音問題は重大な課題と認識しているが、一方で訓練は必要不可欠なことを理解願いたい。できる限り多くの訓練を硫黄島で実施するよう米側の理解と協力を求めている（川原勉 調達協力室長）

3. **厚木航空施設**：要請内容は上司に伝える。司令官からは「地域住民に極力迷惑がかからないようできるだけ硫黄島で訓練し、厚木基地では必要最小限の訓練とするよう努力する」とのことであった（清水美弘 渉外部長）